



【資料1】

令和5年7月28日（金）

令和5年度第2回入間市廃棄物減量等推進審議会

令和5年度 第2回 入間市廃棄物減量等推進審議会 資料

令和5年7月28日
入間市 環境経済部
エコ・クリーン政策課



SDGs未来都市 入間市
Well-being City いるま
～健康と幸せを実感できる未来共創都市～



家庭ごみ収集回数の見直しについて

- ・令和4年度の検討経過
- ・アンケート結果（別紙）
- ・ダイア5市との比較
- ・収集ごみ量の推移（別紙）

令和4年度 収集回数見直し検討経過

収集回数の見直しについては、令和4年度第2回で、プラスチック一括回収と併せて諮問し、検討を始めた。

【諮問内容】 第2回 令和4年10月5日実施

1 プラスチックごみ一括回収の実施について

令和4年4月1日より施行された「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」により、これまで資源として回収していたプラスチック製容器包装（容器包装プラスチック）に加えて、プラスチック使用製品廃棄物（製品プラスチック）を資源物として、一括で回収することが可能になりました。このため、入間市においても令和5年4月よりプラスチックごみの一括回収を実施したいものです。

2 家庭ごみ収集回数の見直しについて

現在の収集回数では、可燃ごみ週3回、不燃ごみ週1回など、近隣市に比べ、収集回数が多い状況です。収集委託費のコスト削減の観点や、将来的なごみの減量を見据え、収集回数の見直しを検討したいと考えております。

一括回収の実施と収集回数の見直しにつきまして、貴審議会の知見並びに住民の視点等を踏まえ意見をいただきたく諮問いたします。

【答申内容】 答申日 令和4年11月18日

1 プラスチックごみ一括回収の実施について

プラスチックごみ一括回収は、プラスチックごみの資源化の加速化につながり、地球環境負荷の軽減に向けた重要な取り組みと考えます。

令和4年4月に「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」の施行に伴い、当市においても、来年度からプラスチックごみ一括回収を実施できるよう早急に準備を進めてください。

なお、実施に際しては、自治会を始めとする市民への説明や集積所への掲示等、市民が迷わず分別できるよう十分な周知に努めてください。

2 家庭ごみ収集回数の見直しについて

家庭ごみ収集回数の見直しについては、実施に関する懸念事項の対策や収集日程の具体化等、3回の審議では結論に至りませんでした。そのため、引き続き審議することとします。

第3回 令和4年10月28日実施

【検討内容】収集回数の見直しの目的について説明

- ・市民のごみ削減に対する意識の変容
- ・収集効率によるコストの削減
- ・資源化率の向上
- ・ダイヤ5市と収集日程を合わせる
- ・現状の収集日程に対し見直し後（可燃週2回、不燃月2回）となった場合の収集回数減により、ごみ減量の効果が期待される

主な意見

回答

収集効率の向上により、どの程度のコスト削減となるのか。
（村野委員）

▶ 運搬費用で若干の削減はあると思いますが、具体的な金額は不明。

コスト削減について、ごみ収集運搬業を営んでいるが、単価が平成22年度から変わっていない。人件費は上がっているため、実質コスト削減はできていると考える。収集は車と人で行うものであって、コストよりも働き手がいらない。募集をしても集まらない。祭日も土曜日も収集となるので、回数の見直しは、コストの削減よりも働き手の環境改善に繋がる。人材確保の点も考えて欲しい。（近藤委員）

▶ 建設業界でも週休2日を実施している。目的に働き方改革を入れたい。

コスト削減はどのような点で削減できると考えているか。（上田委員）

▶ 収集運搬費などで委託料が削減できると考えていた。

主な意見

収集回数が減っても、ごみの量が減らなければコスト削減につながらない。ごみ量が減って車両や人員を減らすことができコスト削減ができると思われる。（永井副会長）

第4回 令和4年11月11日実施

【検討内容】

目的の変更

- ・ごみの減量
- ・資源化率の向上
- ・収集従事者の働き方改革
- ・運搬車両の稼働台数及びごみの削減によるCO₂の削減

周知方法：実施前1年かけて説明会を実施。資源化についても説明。

主な意見

回答

武蔵村山市で可燃ごみの収集回数を週3回から2回へ減らした際に、市民の混乱があったか。
(永井副会長)



回数が減ることに対しては、様々なご意見がありましたが、週2回になったことで、市民は努力をしていたように思う。
(小野委員)

主な意見

収集運搬事業者として、土曜日が休みになり週休2日になれば、働き方改革と業務改善になると思う。人材確保の面でもかなり問題が緩和されると思う。武蔵村山市は、今年10月より、戸別有料化を図り、各家庭を1件1件収集している。それに伴い、増車増員が必要となり、求人を出しても応募がほとんどない状態で、人材確保に非常に苦慮している。武蔵村山市では余剰車両を持たないように、パッカー車1台で新聞・雑誌・雑がみ・古布を全部収集。荷下ろしをする古紙問屋がグループ会社のため、荷下ろし場所で分別の協力をしてもらっており、余剰車両を持たずにコスト削減ができていく状況。(小野委員)

東京都は古布と紙類を別の資源ごみの日にして、3日くらい収集がない日がある。その辺の工夫をされると、さらに収集日数を減らすことができるのではと思う。(有賀委員)

第5回 令和5年1月11日実施

【検討内容】

近隣及び県内同程度の人口規模の市との比較により、排出量からみた収集回数の検討。

入間市は、近隣及び県内同程度の人口規模の市と比べ、1人1日当たりの排出量が多い。また、可燃ごみの収集回数は、比較した市の中で、週3回収集の自治体はないと説明。

雑がみについて、組成分析調査の結果、可燃ごみに12.5%の紙類が含まれていることが分かった。このため、資源ごみとして排出してもらうための検討。

主な意見

ごみ集積所は私の住む地区では、自治会が管理している。可燃ごみの収集は週2回でも良いという意見が非常に多い。（三木委員）

収集業者が人員を募集しても集まらない。非常に大変だというご意見を受けている。その辺りを考慮すると、週3回を維持するのはなかなか大変かと思う。（小林会長）

回数を減らしたらごみが減るのではなく、分別をもっと啓発しないと減らないのではないか。（岡崎委員）

この議論から可燃ごみの収集回収を週3回から2回にする理由が理解できません。例えば所沢市と入間市の人口の差が約倍ありますが、1人当たりのごみの量から見ると、2割くらい多いようです。それに対する対策をどのようにしていくかを検討しなければ、収集回数のお話をしても答えは出ないと思う。（村野委員）

令和4年度の審議会検討内容のまとめ

- ・可燃ごみの収集回数を減らすには、ごみの減量に努める。
- ・可燃ごみに含まれる雑がみを資源ごみとして出してもらうよう啓発を強化する。
- ・減量にはごみ袋の有料化も有効では、との意見も多くあったため、今後検討する必要がある。
- ・収集回数の見直しの目的は
 - ①ごみの減量
 - ②資源化率の向上
 - ③収集従事者の働き方改革
 - ④運搬車両の稼働台数及びごみの削減によるCO₂の削減

令和4年度の審議会では、4回におよび収集回数の見直しについて検討したが、市の提案している可燃ごみを週2日、全体の収集日を週5日の決定には至らなかった。

家庭ごみ収集回数の見直しについて

- ・令和4年度の検討経過

- ・アンケート結果（別紙）

- ・ダイア5市との比較

- ・収集ごみ量の推移（別紙）

家庭ごみ収集回数の見直しについて

- ・令和4年度の検討経過
- ・アンケート結果（別紙）
- ・ダイア5市との比較
- ・収集ごみ量の推移（別紙）

ダイア5市との比較

令和5年4月現在

市名	収集日	集積所の数	収集委託業社数	委託率	収集量	左記のうち可燃	人口	収集委託料
所沢市	可燃 週2回 不燃 月2回 ビニプラ 週1回 ビン・缶・ペットボトル 月2回 古布・紙類 月1回 週5日収集	約10,000箇所	5社	70%	約43,000t	約31,000t	344,070	約8億8千万円
狭山市	可燃 週2回、 不燃 月1回 ビニプラ 週1回 ペットボトル 月1回 ビン・缶 月2回 古布・紙 月2回 週4～5日収集	約4,100箇所	8社	100%	約28,000t	約21,000t	149,113	約4億3千万円
飯能市	可燃 週2回 不燃・ビン 月1回 ビニプラ 週1回 ペットボトル・缶 月2回 古布・紙 月2回 週4日収集	約2,700箇所	7社	100%	約17,000t	約13,000	78,343	約2億8千万円
日高市	可燃 週2回、 ペットボトル 月2回 ビン・缶 月1回 古布・紙 月2回 週2～4日収集	約930箇所	10社	100%	約12,000t	約10,000t	54,557	約1億8千万円
入間市	可燃 週3回、 不燃 週1回 ビニプラ 週1回 ビン・缶・ペットボトル 月2回 古布・紙 月2回 週6日収集	約4,200箇所	10社	100%	約30,000t	約22,000t	145,360	約5億7千万円

ダイア5市の収集日程例(令和5年4月)

所沢市

4月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3 燃やせるごみ	4 びん・缶・スプレー	5 容プラ	6 燃やせるごみ	7 小型家電/ 古着・古布	8
9	10 燃やせるごみ	11 破碎/有害	12 容プラ	13 燃やせるごみ	14 ペットボトル	15
16	17 燃やせるごみ	18 びん・缶・スプレー	19 容プラ	20 燃やせるごみ	21 新・雑・段	22
23	24 燃やせるごみ	25 破碎/有害	26 容プラ	27 燃やせるごみ	28 ペットボトル	29
30						

狭山市

2023年 4月 April						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3 もやすごみ	4 プラスチック	5 もやさないごみ	6 もやすごみ	7 びん・缶	8
9	10 もやすごみ	11 プラスチック	12	13 もやすごみ	14 古紙・古布	15
16	17 もやすごみ	18 プラスチック	19 ペットボトル	20 もやすごみ	21 びん・缶	22
23/30	24 もやすごみ	25 プラスチック	26	27 もやすごみ	28 古紙・古布	29

飯能市

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3 可燃	4 不燃 有害	5 粗大 プラ ペット	6 可燃	7	8
9	10 可燃	11 紙・布	12 プラ 飲料缶	13 可燃	14	15
16	17 可燃 粗大	18 びん	19 プラ ペット	20 可燃	21	22
23	24 可燃	25 紙・布	26 プラ 飲料缶	27 可燃	28	29
30	可燃	紙・布	プラ 飲料缶	可燃		

日高市

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3 可燃ごみ	4 ペット ボトル	5	6 可燃ごみ	7	8
9	10 可燃ごみ	11	12 古紙・ 古布	13 可燃ごみ	14	15
16	17 可燃ごみ	18 ペット ボトル	19	20 可燃ごみ	21 粗大・ 金属	22
23	24 可燃ごみ	25	26 古紙・ 古布	27 可燃ごみ	28 ビン・ カン	29 昭和の日
30						

家庭ごみ収集回数の見直しについて

- ・令和4年度の検討経過
- ・アンケート結果（別紙）
- ・ダイア5市との比較
- ・収集ごみ量の推移（別紙）